



2026 FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP
RACE REPORT

SUZUKA CIRCUIT

Rd.1

2.28[sat] - 3.1[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] 晴れ 晴れ

[spectators] 未発表

Rd.1	SUZUKA CIRCUIT	FEB 28 - MAR 1
Rd.2	SUZUKA CIRCUIT	MAY 23 - 24
Rd.3	MOBILITY RESORT MOTEGI	JUN 27 - 28
Rd.4	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.5	FUJI SPEEDWAY	SEP 25 - 26
Rd.6	FUJI SPEEDWAY	OCT 10 - 11

2026 FRJが開幕！ 三浦柚貴が2勝を飾りライバルをリード。 武藤雅奈もRace1で3位表彰台を獲得する。

QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:15°C | 路面温度:16°C

今季のTOM'Sは、TGR-DCドライバーの#37 三浦柚貴(みうら ゆずき)と#38 武藤雅奈(むとう まさな)を起用し、FRJシリーズチャンピオンを目指す。

予選1回目の途中に中断もあり、タイムアタックできる機会が限られたが、三浦が3番手、武藤は4番手と優勝を狙える位置につけた。続く予選2回目では、三浦がトップとの差を縮め2番手。武藤はAstemoシケインでのスピンが響き、5番手から挽回を目指す。なお、Race3のグリッドは予選1回目のセカンドベストタイム順で決定し、三浦がポールポジション、武藤が2番手を獲得した。


RACE
Race 1 天候:晴れ | 気温:12°C | 路面温度:14°C

2月28日(土)15時45分から行われたRace1では、好スタートを決めた三浦がトップに浮上。終盤にライバルが背後に迫ってきたが、順位を守りきり初優勝を果たした。武藤もスタートで順位を上げて3位表彰台を獲得した。3月1日(日)9時15分から始まったRace2は、2番グリッドからスタートした三浦が終始ライバルとトップ争いを展開。何度か追い抜きを仕掛けたが、トップには届かず2位でフィニッシュ。武藤は4位に終わった。TOM'Sがグリッド最前列を独占したRace3は、武藤がスタートでエンジントールを起こし、一時は最下位まで後退したが、諦めずに追い上げて5位でチェッカーを受けた。三浦は、スタートから後続を引き離す走り、今季2勝目を飾った。

Race 2 天候:晴れ | 気温:13°C | 路面温度:17°C

Race 3 天候:晴れ | 気温:16°C | 路面温度:24°C


RESULTS



Race 1		
予選 3位	決勝 1位	
Race 2		
予選 2位	決勝 2位	
Race 3		
予選 1位	決勝 1位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
P3/1'55.447 QF1 BestTime	P2/1'54.453 QF2 BestTime	P1/1'55.882 QF1 Second Time
RACE		
P1/1'55.021	P2/1'54.904 Fastest Lap	P1/1'55.401

37 三浦 柚貴 YUZUKI MIURA | PONOS RACING TOM'S TGR-DC FR

RESULTS



Race 1		
予選 4位	決勝 3位	
Race 2		
予選 5位	決勝 4位	
Race 3		
予選 2位	決勝 5位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
P4/1'55.705 QF1 BestTime	P5/1'55.003 QF2 BestTime	P2/1'56.085 QF1 Second Time
RACE		
P3/1'55.114	P4/1'55.190	P5/1'55.015 Fastest Lap

38 武藤 雅奈 MASANA MUTO | マツモトキヨシ TOM'S TGR-DC FR

TOM'S

Driver
三浦 柚貴

Race1で優勝できたことは嬉しかったです、内容的にはライバルに追い上げられて僅差でのゴールだったので、個人的に納得はできていませんでした。とにかく、後続に差をつけて優勝することだけを考えて、Race2、Race3に臨みました。Race2では達成できませんでしたが、Race3ではバックミラーを見ずに前だけを見てベストラップを刻むことに集中した結果、優勝することができました。嬉しいですが、正直満足はしていないので、次戦も“ぶっちぎって優勝する”ことを念頭に、もっと成長したいです。

Driver
武藤 雅奈

予選1回目で遅れを取っている焦りから予選2回目でのミスにつながったので、そこは課題だと感じました。Race1とRace2ではスタートが上手くいきましたが、周りタイヤの状況も異なりましてし、走り方を含めてレースでの強さも身につけていかないといけないと思いました。Race3はニュータイヤでのスタートだったので気持ちが入りすぎました。その後のペースは良かったですが、ライバルとの差を見ると改善の余地はまだあると感じています。悔しい部分が多かったので、次は必ずリベンジしたいです。

Team Director
山田 淳

まず、チームとしてはシーズンの開幕戦を制することができたのは嬉しいです。三浦選手はRace1とRace3で優勝を飾り、結果としては非常に良かったですが、内容面では課題も残ったように思います。特にRace2はニュータイヤを履いて逆転を狙いましたが、あと少し足りませんでした。そこは次戦以降に期待したいです。武藤選手はRace3のスタートでの遅れが痛かったです。あれがなければ優勝できた可能性も十分にありましたが、その後の追い上げは素晴らしかったです。彼も課題がありますが、次戦も同じ鈴鹿なので、しっかりと振り返りをして、次に臨んでもらえればと思います。



PONOS

マツキヨ

GR TOYOTA
GAZOO
RacingTGR-DC
TGR Driver Challenge Program

DUNLOP

MOTUL

